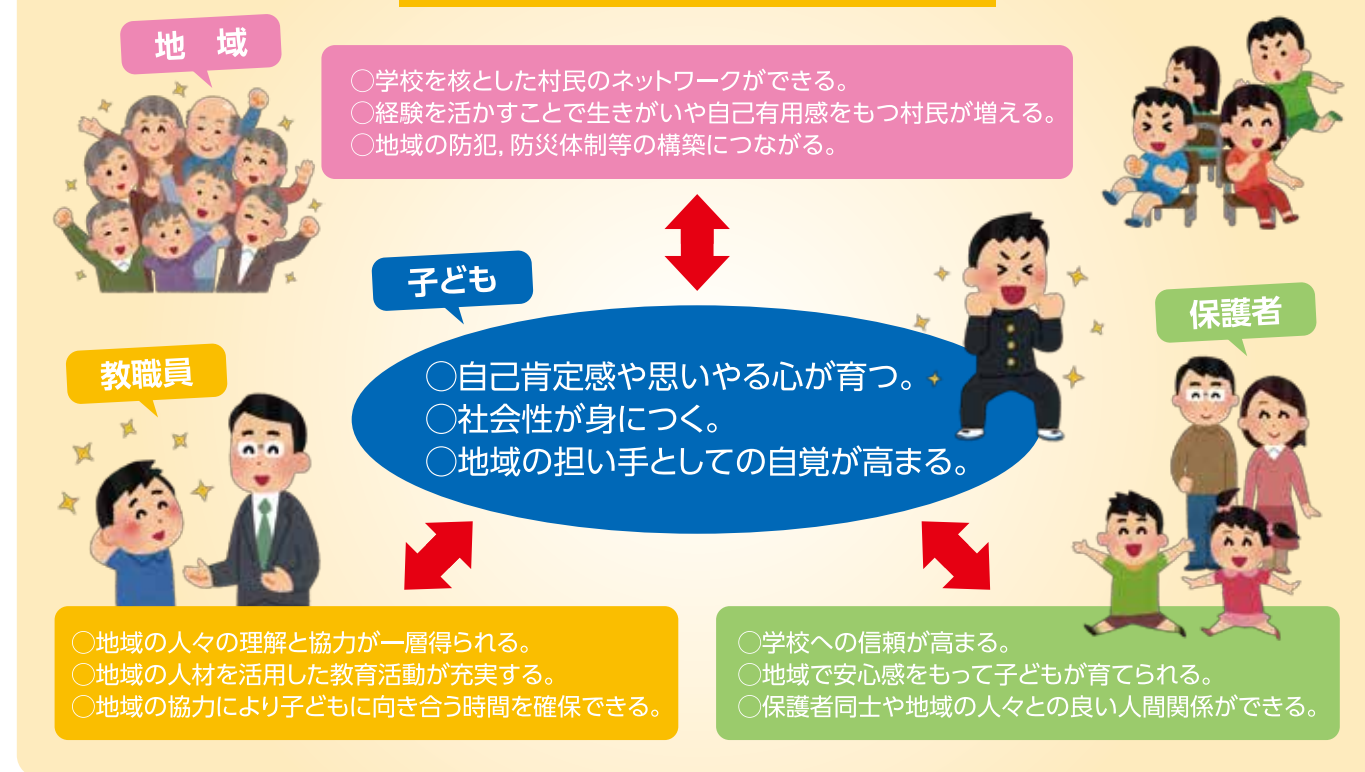


コミュニティ・スクールの魅力



コミュニティ・スクールに関するQ&A

Q 学校運営協議会を設置することで、先生方の負担は増えないのですか？

A これまであった複数の会議を統合するなどして、組織の精選や会議の回数を減らします。また、小・中に1つの協議会を設置するため、事務局を教育委員会に設置します。このことで、会議の準備などこれまで学校が行ってきた業務の削減につながると考えています。

Q 小中連携と学校運営協議会はどう関係するのですか？

A 平成29年の法改正で学校運営協議会を2つ以上の学校に1つ設置できるようになりました。弥彦村でも一小一中の特徴を生かすために、小・中学校に1つの協議会を設置します。このことで、地域の支援を小中継続して実施しやすくなると考えています。

Q すでに弥彦村では地域連携が盛んに行われていますが、学校運営協議会は必要ですか？

A 地域連携というと、どちらかといえば、「学校のお手伝い」という意識になりがちでした。学校運営協議会では、学校と地域とが願いを共有するために校長先生が作成する学校運営の基本方針の承認を行います。これまで行ってきた連携の目的を確認する意味でも協議会の果たす役割は大きいと考えています。



コミュニティ・スクールは地域の絆を生み、地域の未来をつなぐツールです

一人一人が輝く!

2019年4月 弥彦小・中はコミュニティ・スクールになりました!

弥彦村コミュニティ・スクール

地域とともにある学校

コミュニティ・スクールとは「学校運営協議会」を設置している学校のことです。学校運営に地域の声を積極的に生かし、地域とともに特色ある学校づくりをすすめます。

そのために

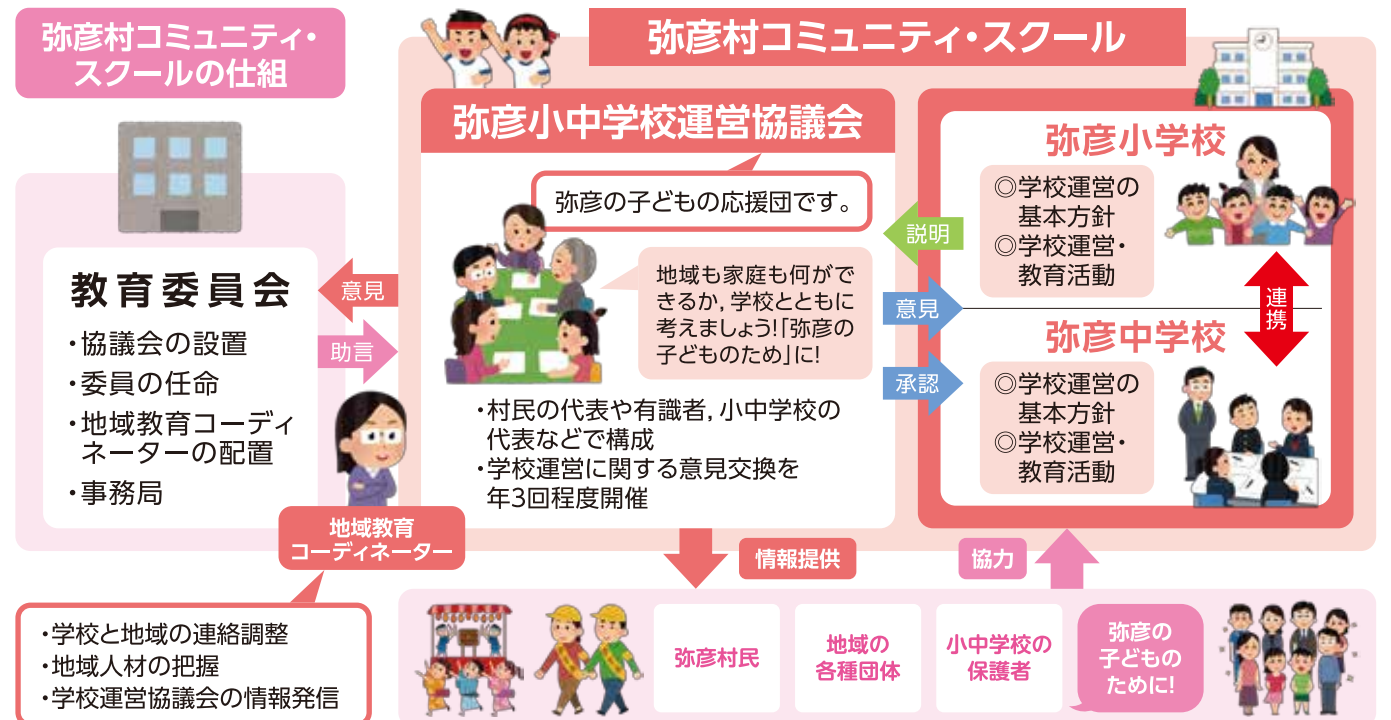
願いを共有

学校と村民等が「地域でどのような子どもたちを育てるのか」「何を実現したいのか」という目標や願いを共有することが重要

村総掛かり

子どもや学校の抱える課題の解決、将来の村の担い手として子どもの豊かな成長のためには、村総掛かりの教育の実現が不可欠

弥彦村コミュニティ・スクールの仕組み



※学校運営の責任者は校長です。学校運営協議会は地域の願い等を受けて校長に意見を述べたり、共に解決策を考えたりします。

主な役割

コミュニティ・スクールの役割

1 学校、保護者、地域の連携体制づくり

学校、保護者、地域のつなぎ役となって、一体となって子どもを育てる体制を整えます。

2 学校運営への参画

校長が作成する学校運営の基本方針を承認し、目指す子ども像や学校が抱える課題等について話し合う場をもちます。

3 学校関係者評価

学校の取組を評価して、次年度の学校運営に反映させます。

これまでの学校評議員は学校運営協議会に統合されます。



学校



- 学校はふるさと学習やキャリア教育を通して、「郷土愛」「夢や志」を育みます。
- 学校は各教科、領域の授業を通して、4つの力を伸ばします。



地域



- 大人は子どもたちと積極的にかかわります。
- 子どもたちも大人とともに地域の一員として地域に貢献します。
- 大人は子どもたちと活動することを乐みます。

弥彦村コミュニティ・スクールが目指す姿

学校と地域が**共通の願い**をもってともに育む

「弥彦を愛し、夢や志をもってつながりを広げる強くたくましい子ども」



マネジメント

校長を中心とした「**マネジメント**」機能を強化して、学校と地域の協働した取組を効果的に進めるための校内体制を整備する。

- 地域へ出て実際に体験することを通して、地域のよさや課題をつかむ。
- 仲間とのかかわりを通して、解決方法を考えたり、粘り強く解決に取り組んだりする。
- 職場体験等を通して、村内で働く方々の思いにふれ、自己の生き方を振り返り、将来に生かす。

熟議

「**熟議**」によって学校運営について意見したり承認したりします。また、学校の課題や地域の課題についても話し合う。

願いをつなぐ

学校運営協議会

協働

学校の抱える課題や子どもたちの実態をふまえて、地域・家庭が「**協働**」して子どもたちの成長に貢献する。

- 伝統芸能を受け継ぐ場などでの大人と子どものかかわりを大切にする。
- 地域行事のなかで、大人と子どもが共に活動することを楽しむ。
- 地域活動に積極的に参加し、子どもも地域の一員として大人と共に活動する。